

第17回 長崎県民文化祭

長崎県

人形芝居 フエスステイバル



千綿人形
浄瑠璃

血山人形
浄瑠璃



乙女文楽

人形が語り
人形が舞う!



八王子車人形

* 波佐見会場 *

●日時 2005年11月18日(金)

◎開場...18:00 開演...18:30

●会場 波佐見町総合文化会館
(ウェイブホール)

入場料 一般...500円 / 高校生以下...無料 (学生入場券必要)

チケット取扱 波佐見町総合文化会館、長与町民文化ホール、波佐見町役場、長与町役場 ほか

お問い合わせ先 波佐見町教育委員会 (Tel:0956-85-2034), 長与町教育委員会 (Tel:095-883-1111)

* 長与会場 *

●日時 2005年11月20日(日)

◎開場...13:00 開演...13:30

●会場 長与町民文化ホール

◎主催/長崎県、長崎県文化団体協議会、波佐見町、波佐見町教育委員会、長与町、長与町教育委員会
◎共催/波佐見町文化協会、長与町文化協会、血山人形浄瑠璃保存会、千綿人形浄瑠璃保存会
◎後援/朝日新聞社、長崎新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、KTN、NIB、NCC、NBC、NHK長崎放送局、FM長崎
ホームページ「長崎文化ジャンクション」 <http://www.pref.nagasaki.jp/bunka/>

長崎県 人形芝居フェスティバル

第17回
長崎県民文化祭

出演団体
プロフィール



八王子車人形 / 西川古柳座

東京都 八王子市

車人形は、人形使いがロク口車と呼ばれる箱車に腰掛け、一人で一体の人形を操るものです。人形が舞台上に足をつけて演技できるのは、世界でもこの車人形だけだとされています。

西川古柳座の技芸は、初代西川古柳・江戸の最後の人形遣いの吉田冠十郎・文楽の吉田文昇らの常にその時代の第一級の指導を受けています。

そうした芸を受け入れつつ、伝統的な車人形の織法を基礎に、さらに新鮮な工夫を重ね、昭和56年には乙女文楽の首の技法を取り入れた「新車人形」の技法を創案しました。それは洋舞など新しい分野を切り開いているとともに、海外公演など幅広い活動を行っています。

●昭和58年 東京都無形文化財指定 ●平成8年 国・選択無形民俗文化財指定

【演目: 三番叟、葛の葉】

乙女文楽 / 桐竹蘭紗也 (きりたけまさや)

大阪市

「乙女文楽」とは、昭和の初年に少女たちによる一人遣い人形芝居の今日までの総称です。桐竹蘭紗也氏 (本名 木村真奈美) は兵庫県淡路島出身で、平成8年まで人形劇団クラルテに在籍後、以前から取り組んでいた乙女文楽で活動を始め、浄瑠璃人形制作・狂言・小謡・日本舞踊を各師に師事しました。

現在は、人形操作法を桐竹政子師 (胴金式) に師事し、自作の浄瑠璃人形とともに、人形舞を中心に国内はもとより、ドイツ・スイス・イタリア・アメリカなど海外でも幅広く活動を続けています。

また、古典をベースに津軽三味線・和太鼓・尺八・ヴァイオリン・チェロ・ピアノなどとの共演にも取り組んでいます。

【演目: 禿、鷺娘】



千綿人形浄瑠璃保存会

長崎県 東彼杵郡 東彼杵町

200年くらい前から東彼杵町千綿宿郷に伝えられ、高齢化と後継者不足で一時的活動休止の時期もありましたが、平成9年頃保存会を発足し、平成11年には地元で復興記念公演を開催するに至り、伝統ある千綿人形芝居は復活しました。

また、後継者の育成と保存継承のため千綿中学校に人形浄瑠璃部が発足し、練習を重ね、平成13年東彼杵町で開催した第1回九州地区人形芝居サミットにも出演し好評を博しました。

●昭和29年 長崎県無形民俗文化財指定。

【演目: 傾城阿波の鳴門】



血山人形浄瑠璃保存会 / 美玉座

長崎県 東彼杵郡 波佐見町

享保17年(1732)、享保の大飢饉で深刻な飢饉に直面した血山の人々は、人形浄瑠璃興業を思い立ち、大村藩内各地を巡業して窮民を救いました。これが血山人形の始まりといわれています。

平成元年には、地元の青壮年12人が後継者を名乗り出ました。以後熱心に練習に励み、血山大神宮夏越し祭りでの奉納公演、地元敬老会での公演に加え、近年では町外への出張公演も盛んに行っています。

●昭和29年 長崎県無形民俗文化財指定。

【演目: 生写朝顔話】

